

■ 実地研修(修学旅行)の代わりに! 実社会の課題解決を実感させる

生き方をテーマにしたキャリア教育として3年間のカリキュラムを編成。例年の実地研修(沖縄修学旅行)の代替として、本教材を活用して、課題解決の意義を捉えさせた。

対象: 2年生 160名
4クラス 普通科

■ 年間カリキュラム

- 総合的な探究の時間 (35時間)
- 活用テーマ: 導入、伝統継承、まとめ
- 学校テーマ: キャリア『生き方我が道～自分の生き方ぐらい、自分で決めてやる～』※3年間を通して、自分の生き方を探究。



最初にSDGsを学び、社会の問題に気づかせた。2学期からのゼミ『生き方我が道』の前に、本教材を実施。

例年では、沖縄実地研修での異文化体験があるからこそ、ゼミでの探究につながります。今年はそのができなかったため、この教材で実社会の課題解決の意義を捉えさせました。例年は、単純な調べ学習で終わってしまう生徒が少なかったのですが、今年、課題解決について考える生徒が多かったのが印象的です。
「探究はなかなか結論が出るものではなく、繰り返しやっていくものなんだ」という意識付けにもなりました。

■ おすすめ!

映像教材がすごい!「世の中って、こんな課題解決が行われているんだ!」というスケールの大きな探究が見てとれます。「東京や東北の話だ」と、他人事にならないように、生徒達の身近な地域や身の回りにつないでいくことがポイントです。



■ 探究エピソード紹介

■ 生き方の探究に向けて視野を広げる

『生き方我が道～自分の生き方ぐらい、自分で決めてやる～』は、本校の伝統的な探究です。3年かけて「進んで調べ、課題を見つけ、結論を出し」、自分が大学で研究したいこと・職業でやっていきたいことを明確にします。自分の興味があるもの、目先のこと、自分の経験の範囲でしか考えることができなかった生徒が、この教材で、社会ではどんなことがされているのか、企業がどんな活躍をしているのかを捉えて、視野を広げることができました。



■ 研究主任 工藤先生から『探究』へのアドバイス!

■ 探究活動が、生徒がキャリアを描くきっかけになる

卒業時の生徒からは「探究をやってよかった」という声がとても多く聞かれます。自分の興味・関心のあることにはとても主体的です。探究していくにつれ、もっとやりたいことが見つかり、人生の目標につながった時、進路希望や志望する大学が見え始めます。「行きたい大学を調べる」ことから始まるキャリア教育とは逆の発想です。探究の指導は、生徒が自分でキャリアを切り拓く支援をすることだと考えています。

Q 小グループでの探究指導のコツはありますか?

A わたしのゼミでは、毎回の発表があり、疑問点や課題を話し合います。その解決策を、本人が次週までに考えてくる、という方法です。「グループで協力」ではなく、「高め合う仲間」になるような雰囲気づくりも重要です。

